



〒299-2192

千葉県安房郡鋸南町下佐久間 3458

TEL0470-55-4804

発行/鋸南町議会 編集/議会広報特別委員会

# きよなん

議会だより



入学  
おめでとう  
でも、抱っこは卒業

## はやわかい

- 条例の制定 . . . 2～3
- 予算審査特別委員会 . . . 4～5
- 3議員が町政を問う . . . 6～9
- 町民の声 清水さんに聞く . . . 12

4月9日 鋸南小学校

### 知っていますか？

議会の傍聴はどなたでもできます。

次の議会は5月臨時議会です。

傍聴手続きは、当日議場受付で住所・氏名・年齢を書くだけです。日程は、広報無線や町のホームページ（5月上旬）でお知らせします。

会期 1 1 日間【3月5日～15日】

# 平成31年(第1回)3月定例議会

発議案 1 件 町提出議案 2 3 件 全会一致で可決

3月定例議会は、会期を3月5日から15日までの11日間の日程で開催した。定例議会には議員報酬に関する発議案1件と町提出23議案が上程された。町提出議案の内訳は、条例の制定1件と一部改正8件で計9件、その他議決議案として規約の制定に関する協議1件、過疎計画の変更1件、予算関係では30年度補正予算6件と31年度当初予算6件の計12件の審議を行った。

条例、協議、計画変更及び補正予算は6日、当初予算は、8日開催の予算審査特別委員会での審査を経て15日最終日に、それぞれ全会一致で全議案を可決した。また、一般質問では、鈴木、三国、緒方の3議員が質問席に立った。

## 議員発議

### ◆議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

千葉県人事委員会の勧告に従い、一般職の職員の給与等に関する条例の改正案を12月定例議会において、可決したが、これにならない6月期と12月期で異なっていた議会議員報酬の期末手当の支給月数を均等にすべく改正を行った。

これまでの6月期100分の122・5、12月期100分の137・5の支給月数を、それぞれ100分の130に改めるもので、

期末手当の支給総額に変更はない。質疑等はなく全会一致で可決した。

## 条例の制定

### ◆鋸南町森林環境譲与税基金条例

税制改正により平成31年度から森林環境譲与税が創設されることになった。これにより同税の一部が国から町に譲与されることを受け、基金を創設し、同税の積み立てを行えるようになるのが条例制定の趣旨。

積み立てられた基金は、後年、間伐や人材育成、木材利用の促進、普及啓発等の事業実施が必要になった場

合に、取り崩して事業費の財源に充てられる。平成31年度は92万4千円が譲与される見込み。

質疑の後、全会一致で可決した。

**問** 基金設置の目的として、木材利用の促進が挙げられているが、鋸南町での木材利用にかかる事業とは、どのようなものを考えているか。

**答** 現在、鋸南町には、林業に従事している方がいません。今後、考えられる木材利用については、薪としての利用、炭、あるいは地場木材を利用した木工製品加工などが考えられます。

## 条例の一部改正

### ◆鋸南町国民健康保険条例の一部改正

改正の主な内容は、基礎賦課限度額の引き上げと保険料軽減の適用の有無を判定する際に用いられる金額の引き上げの2点。

基礎賦課限度額については、現行の58万円を61万円に引き上げ、判定に用いられる金額に関しては、5割軽減の場合、27万5千円を28万円に、同様に2割軽減も50万円から51万円に引き上げるもので、質疑等はなく全会一致で可決した。

※1 徴収できる医療分保険料の最高限度額のこと、これとは別に介護分、後期高齢者医療分についても限度額がそれぞれ定められている。

※2 国民健康保険料は、前年度の所得額に応じ、7割、5割、2割の減額措置を受けることができる。5割と2割軽減については、各々一定の金額に世帯の被保険者数を乗じ、更に33万円を加算して得られた額を被保険者世帯の前年度所得額が下回った場合に適用される。従って、今回の額の引き上げにより、軽減対象世帯の拡大が見込まれている。



◆ 鋸南町使用料条例の一部改正

現在、新築工事を行っている老人センターの貸し切り風呂の使用料を追加し、昨年のエレベーター工事に伴い、ホールに改装された指導相談室の使用料を削除するのが改正の内容。貸し切り風呂の使用料金は、1室1時間につき2500円で、4月1日から適用される。質疑等はなく全会一致で可決した。

この他には、

◆ 一般職の職員の給与等に関する条例の一部改正

◆ 町長等の給料月額の特例に関する条例の一部改正

◆ 鋸南町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正

◆ 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

◆ 鋸南町介護保険条例の一部改正

◆ 鋸南町介護給付費準備基金条例の一部改正

の6議案が審議され、いずれも全会一致で可決した。



大型連休に向けて開業予定の“貸し切り風呂”

その他の議決事項

- ◆ 木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、鴨川市、南房総市及び鋸南町広域廃棄物処理事業協議会規約の制定に関する協議

第2期君津広域廃棄物処理事業を実施するための組織体制を検討していた6市1町は、検討を重ねた結果、「協議会」方式での運営を行うことになった。

設立に時間を要せず、交付税措置が受けられること。次期処理施設の供用開始に

見合うスケジュール設定が可能である。構成市町の主体性を保持しつつ、執行組織としての仕組みが簡便などがその理由である。

協議会の名称は、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、鴨川市、南房総市及び鋸南町広域廃棄物処理事業協議会で、平成31年4月1日に発足。事務所は、木更津市クリーンセンター内にある市環境部まち美化推進課内に設置されることとなった。この協議会設置に関し、必要な事項を定めた同協議会規約の協議があり、全会一致で可決した。



事務所が置かれた木更津市クリーンセンター

◆ 鋸南町過疎地域自立促進計画の変更

鋸南町過疎地域自立促進計画は、平成28年度から平成32年度までの5ヶ年計画として策定されており、計画を変更しようとする場合は、軽微なものを除き、議会の議決を経て、国への提出が必要となるため、今定例議会へ上程された。

変更の主な内容は2点。

計画の立案の際の数値的根拠である国勢調査の数値が、これまで使用してきた平成22年国勢調査数値を平成27年へ変更することが1点。もう1点は、今後の事業展開を考慮し、実施の可能性のある事業を新たに付け加えたこと。質疑の後、全会一致で可決した。

問 大崩地区の観光拠点整備事業は、具体的な計画があるのか。

答 佐久間ダムの周辺の各種整備事業の実施の際、過疎債の適用を受けられるよう追加しました。



全体計画を要望した佐久間ダム

問 社会教育バス更新事業の内容は。

答 社教バスは、導入してから23年が経過しているため、計画に追加しました。

問 小学校の修繕事業の内容は。

答 30年度で予算化した小中学校空調設備設置事業の財源として、過疎債の適用を受けるため、計画を見直しました。

問 農業共済制度支援事業の内容は。

答 認定農業者、認定新規就農者へのリスク軽減のため、家畜園芸施設共済への掛金等の支援を計画しています。

# 特別委員会報告～

## 一般会計対前年度比4.4%増額

### 公債費、施設改修整備、各種事業への負担金・補助金を増

平成31年度の当初予算は、議員全員で構成する予算審査特別委員会（伊藤茂明委員長）を設置し、審査を行った。一般及び国保会計では、多くの質疑がなされ、すべての予算を全員賛成で可決すべきものと決定した。一般会計の歳入歳出総額は38億9907万3千円で前年度比4.4%、1億6545万1千円の増となった。

新年度で予定している主な事業は、都市交流施設周辺整備事業994万1千円、観光トイレ設置事業429万9千円、資料館空調設備等改修事業4004万円、中央公民館正面玄関改修事業790万8千円、中学校グラウンド整備事業4140万8千円、学校給食費補助事業2163万6千円など。

#### 一般会計予算主な質疑

##### ＜総務企画課関係＞

**問** 豊かなまちづくり寄付金を増やすための施策はあるか。

**答** 前年より返礼品を9品減らす一方で、新たに20品追加し、現在46品をリストに掲載しています。また、寄付金が集中する12月を中心にダイレクトメールなどでPRを行いました。

**問** 道の駅保田小に係る周辺整備策定委託は、基本計画策定に関わる組織を立ち上げ、企画をより充実したものにしたかどうか。

**答** 業者はプロポーザルで

選定しますが、業者の案をそのまま採用するのではなく、町内の各部門の関係者の話を聞きながら計画を進めていきます。

##### ＜税務住民課関係＞

**問** 平成30年度、鋸南町への新規転入者の見込み数は。

**答** 見込みは立てていません。平成30年1月から12月までの実績については、転入者207名、転出者274名で、社会増減は67名、0.83%減少しました。

##### ＜保健福祉課関係＞

**問** 老人福祉センターは何人体制の予算を組んでいるか。

**答** 正職員1名、臨時職員5名を見込みました。

**問** 重度心身障害者医療費扶助の予算額が500万円ほど減っているが、利用者数の減を見込んだのか。

**答** 身体障害者1・2級の手帳保持者数に変わりはない、30年度4月から12月までの実績と今後の見込みから推計し、計上しました。

##### ＜地域振興課関係＞

**問** 元名採石場跡地の取得時、使用料を年間400万円見込むとの説明があったが、予算額の200万円は少なすぎないか。

**答** 年度途中で取得したため、30年度3月補正後の予



県内では5番目 給食の無償化

算額が、190万円となっていて、ことから、31年度については、この実績をもとに歳入が見込める額を計上しました。

**要望** 1日の使用料が10万円、長期の撮影も予定されているとの説明なので、それなりの金額になると考える。使用料が高いと思えば次回は使用しないということもあるので、徴収の際には、状況にあった対応をしてもらいたい。

**問** 佐久間地区活性化推進協議会について、31年度の事業計画と集落営農の進捗状況及び目標についての説明を。

# ～平成31年度予算審査

## 子育ての経済的負担軽減を図り

### 学校給食を全額補助

**答** 31年度は30年度と同様、集落ぐるみの有害鳥獣対策、高収益作物についての検討を考えています。集落営農については、希望する集落が1ヶ所あり、集落

座談会を開催し説明をしたところ、2回目以降については集落主体で実施することになり、平成32年度までに組織化できればとの意向があるとのことです。

**要望** 町が実施した農業アンケートの結果を見ると、これから集落営農が必要になると考えるので、積極的に取り組んでもらいたい。

**問** 新規就農者支援事業補助金は2名分、10万円との説明だが、どのような支援策を考えているのか。

**答** 安房農業事務所の経営体育成セミナーの受講者に対し、1人5万円を助成します。今年、利用した方は3年目なので、来年は受講することができません。新規就農相談も来ています。もあり、2名分を計上しました。

#### ＜建設水道課関係＞

**問** 以前、人口減対策として、新しい町営住宅を建てて、新しい町営住宅を建てて、新しい町営住宅を建てての話があったが、検討しているのか。

**答** 平成28年度に地方創生推進交付金を活用して調査を行い、改修等も含め町営住宅の今後について検討しました。建築から50年近く経過し、劣化が激しく耐震性能も不明であるため、転用や再生利用の可能性は低いとの検討結果が出ました。現在は4世帯が居住しており、現状のまま入居している状況です。

#### ＜教育課関係＞

**問** 歴史民族資料館の使用料が前年度の半分しか計上されていないが、原因は。

**答** 空調設備等改修工事に より4ヶ月間休館し、特別展の開催も予定していないため減額しました。

**問** 公民館は夏場の空調の効きが悪くなっているが、長寿命化建物調査委託の中

で検討されるのか。

**答** 空調機は、平成14年に改修を行い、今年度も修繕を行っており、現在は正常に作動しています。長寿命化調査では、外壁、床、機械設備等の調査を行う予定です。空調についても今後の計画の中で見直しを予定しています。

#### その他の予算主な質疑

##### ＜鋸南町国民健康保険特別会計＞

**問** 特定健診受診向上事業業務委託の事業内容の説明を。

**答** 事業はAI(人工知能)を利用し、国保連合会が管理するデータ等から、特定健診未受診者を4つに分類し、受診勧奨をします。

**問** 事業実施により受診率の向上は見込めるのか。

**答** 平成29年度は560名、平成30年度は650名で、16%増加し、直近5年間で最も増えました。

**問** 人間ドック助成金について、利用者の年齢や再利用の有無は。

**答** 30年度は、現在まで67名が受診し、うち再利用は54名です。年齢構成は60代・70代の方がほとんどで、社会保険等でドックを受診していた方が、国保に加入してからも受診しているようです。

平成31年度普通会計当初予算		対前年比
一般会計	38億9,907万3千円	4.4%増
国民健康保険特別会計	11億5,769万8千円	3.1%減
後期高齢者医療特別会計	1億3,474万円	1.7%増
介護保険特別会計	12億4,910万6千円	1.7%増



# ここが聞きたい いっぱん質問



三国 幸次 議員

- ・改元に向けた対応について
- ・外国人の相談窓口について



鈴木 辰也 議員

- ・町防災対策について
- ・佐久間地区の整備計画について
- ・鋸南病院について



緒方 猛 議員

- ・緊急通報システムについて
- ・提案制度の創設について
- ・高齢者交通事故対策について

## 3 議員が町政を問う

議会中継は、町ホームページから町議会→議会中継をクリックしてね

みかえりちゃん



おいらんまき君

録画配信は、次の議会開催まで見ることができます

一般質問とは、議員が本会議場で町長・教育長に対し質問や提案を行うものです。紙面の都合上概要を掲載しています。

## 鈴木 辰也 議員



### 問 旧佐久間小一帯の全体構想を早急に

### 答 保田小整備の進捗状況を踏まえて検討

**問** 避難行動要支援者名簿の作成状況は。

**答** 現時点の進捗としては、要介護高齢者や障害者等の情報を集約するため、保健福祉課と総務企画課において共同して作業にあたっています。現名簿は、支援を必要とされていない方も含まれている可能性、名簿の時点修正作業が必要であり、現実に即した名簿対象者の整理調整を加えるべきと考えています。鋸南町介護サービス事業所連絡協議会ケアマネージャー部会に協力を仰ぎ、訪問先の346名の方に同意確認作業を行っています。

**問** 答弁では、今後、検討していくとのことであったが、その後の様な検討がされてきたのか。

**答** 佐久間地区の活性化を図るためには、この2施設を中心に佐久間ダムと連携して進めていくことが重要であると認識しています。地域活性化に寄与するような施設になるよう検討を進めています。具体的計画はまだ決まっています。

**問** 備事業の進捗状況を踏まえて、進めていきたい。

**答** 都市交流施設の整備事業が終わるまで旧佐久間小学校周辺の整備事業は、できないと考える。旧佐久間小学校を広域避難場所として機能を持たせるならば、体育館が整備されるまでは、テントを何十張か町の方で常備して、発災時にはテントを張ってテント村にするのはどうか。

**問** に綿密な協議が必要と考えるが。

**答** 今後、病院における医療提供のあり方、医療体制の見直し、運営方針等、今まで以上に綿密な協議が必要であると考えています。



急がれる旧佐久間小一帯の全体構想

## 三国 幸次 議員



### 問 改元に向け準備をぬかりなく

### 答 問題が起こらないよう対応

**問** 天皇陛下の譲位と新天皇即位に伴う5月1日の改元に向けたシステム改修や文書の表記などについての考えはどうか。

**答** 文書の年度表記の方法に関する、本町の基本的な考え方は、原則的に新年度以降も従来どおり、和暦表記で行う方針です。

**問** 改元に向けた準備の現状はどうか。

**答** 本町の主要なシステムである住民基本台帳や税、国保などの基幹システムについては、データそのものは西暦管理で、改元への対応もあらかじめ準備していることから、改元による問題は起こらないものと考えています。

**問** 混乱や問題が起きない

ように綿密な検討とぬかりなき準備が求められますがどうか。

**答** 庁内では他に多様なシステムを活用していますので、今後、改元に向けて、全体として統一した対応が行われるよう綿密な準備を進め、混乱や問題が起こらないよう対応していきます。

**要望** 既に西暦表示の方向で動きが大きく進んでいるので、少しずつでも西暦に統一する方向で準備をしていけば事務経費も削減できるので、進めてほしい。

**問** 4月からの外国人材の受け入れ拡大にもなう相談窓口について町としての考えはどうか。

**答** 政府の総合的対応策は、外国人が多数居住する市町

村に限られた内容であり、本町は対象外でした。本町においては、平成31年2月1日現在、男性14名、女性36名、計50名の外国人の方が住民登録されていますが、他に比べるとその割合は低く、一元的な窓口の設置までは、考えていないのが現状です。

**問** 今後、外国人労働者や観光客が増加する可能性があるため、対応できるよう検討する必要があると考えるがどうか。

**答** 観光パンフレットや案内看板の多言語化などを行っています。また、道の駅保田小内の「町のコンシェルジュ」は、外国人案内所として登録されています。現在は、英語案内には対応していませんが、今後は自動翻訳アプリ

等を活用しながら、外国人来訪者のニーズにあつた対応を進めていきたいと考えています。また、外国人労働者世帯の児童・生徒の受入には、苦慮したことから、必要に応じ対応していきます。

**要望** 今後の変化に対応できるよう、ボランティアの募集なども検討してみてもどうか。さらに対応マニュアルなども検討して欲しい。



道の駅保田小の外国人案内所





問 緊急通報システムのリース代の負担軽減を

答 財政負担増となるため現状維持で

【緊急通報（SOS）】

システムのリース代

問 当該システムは、一人暮らし高齢者約千人の安心、安全につながる良いシステムであり、6年前に導入されたが、警備会社方式の標準月リース代28000円の全額契約者負担は厳しい。近隣市町同様に応分の町負担はできないか。

答 現在3つの形式を紹介し40世帯が契約しています。警備会社方式は11世帯が契約、安心電話方式には28世帯が、センター方式には1世帯が契約しています。仮に、警備会社方式に100世帯加入した場合、年間362万円の財政負担となるため、今後、国、県等で補助制度ができた場合には、再度、検討したいと

考えます。

問 人口構成のほぼ同じ御宿町では、全額町負担で約240世帯が契約。当町で増えない理由は、リース代が高いからだと考えるが、町の判断は。

答 ペンダント型は、通報の際、管制室との間で異常の有無を会話で確認する手間があり、直接消防署に要請する方が早い或いは契約時、数名の協力者が必要などの難点があるため、契約が増えないのではと考えます。

問 管制室と異常の有無の確認はしなくても、煙、熱、人の移動、建物の警備までボタンを押さずとも自動検知機能で情報を伝えるすぐれものだ。協力者が必要との話だが、私がメーカー確認の結果

は必要ないとの回答。要はリース代の高さで敬遠されている。高齢者が住み良い町と言うのであれば「命の綱」ともいえるこのシステムに対し、他の自治体程度は負担して欲しい。

答 従来通り、導入費用は町負担で、リース代は全額契約者負担としたい。

【職員&町民の提案制度創設を】

問 職員の業務改善、合理化、生産性、町民サービスの向上等、提案の習慣に乏しさを感ずる。あきらめを感じている町民もいると思う。町政の課題を解決する提案制度を創設すべきではないか。

答 町長への手紙、町政報告会、小学生対象のこども議会などがあり、自由に提案でき

る環境はあると思うので、現時点では、提案制度の創設は考えていません。

【高齢者交通安全教育の早期実施を】

問 以前、体験型運転意識研さん教育を29年4月から実施するとの答弁があったが、どうなったのか。

答 各地区の老人クラブ等に働きかけて、安全教育や講習会等の検討をします。

リース代の契約者負担状況			
世帯	課税	非課税	生活保護
T市	0	0	0
K市	0	0	0
M市	1500/月	100/月	0
O町	360/月	360/月	0
J町	0	0	0
鋸南町	100%契約者負担		

# 平成 30 年度 補正 予算

## 経営不振の鋸南病院予算に質疑と討論

3月6日、定例会2日目に6つの会計補正予算案が上程され、説明、質疑、討論の後、全会一致で可決した。

可決したのは、普通会計では、一般、国保、後期高齢者、介護の4会計、企業会計では、病院、水道の2会計で、各補正とも会計年度末を迎え、歳入歳出の各費目にわたり、決算

を見込んでの補正が行われた。補正後の総額は、別表のとおり。

一般及び介護会計では、活発な質疑が行われたほか、病院会計では、病院の経営不振による3千万円の追加補助に関して討論(当初予算でも同様に1件)が行われた。主な質疑と討論の内容は、以下のとおり。

### 一般会計予算

**問** 海洋センタープールに関する工事関連委託費が減額されたが、工事は終了したのか。終了したのであれば、プールの使用、水泳教室の再開はいつからか。

**答** ボイラー、ろ過器、配管等の改修をしています。工事は、順調に進んでおり、年度内に終了する予定で、教室の再開は、4月1日以降を予定しています。

**問** 改修工事以外で、新たに子ども達の興味を引くような改修はあるか。

**答** プールを放水したので、職員が手製で幼児プールの底に、ジンベイザメとイルカ2匹を描きました。

**問** 物産センター使用料23万の減額の内容は。

**答** 物産センターについては、現在、2店舗空いており、うち1店舗は、2月から新入居者が開店の準備中です。もう1店舗も事業内容を検討中で、未入居期間

中の使用料の減額です。

**問** 営業を停止してから1年位になるが、店が閉まっているのは体裁が悪い。どのように考えているのか。

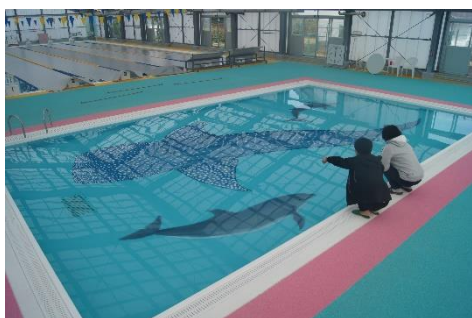
**答** 空き店舗は、印象が悪いので、準備中の入居者には、印象が良くなるよう装飾等で工夫するよう依頼し、もう1店舗についても1日も早い、事業決定を依頼しているところだ。

**問** 元名採石場跡地の使用料の計上額が少ないように思えるが、説明を。

**答** 採石場跡地は、現在まで19件利用があり、その使用料を計上しました。4月以降には、2か月ほどに渡る大作映画の撮影の企画の相談が来ています。

**問** 跡地の使用料は、町が取得する前は、年間使用料が最高700万円という話を聞いたことがある。なぜ減るのか。

**答** 跡地利用については、町のホームページや県フィルムコミッションを通じて利用の周知は行っており、



4月リニューアルオープン (BGプール)

利用が増えない理由を把握し切れていない状況です。

**問** 豊かなまちづくり寄付金は、150万円増との説明だが、寄付の決算見込み額は。また、基金残高を5133万4千円と見込んでいることだが、寄付金の使用目的は。

**答** 12月時点での寄付を1400万円と見込みました。30年度は、基金を取り崩し、佐久間ダムの手すり・パーゴラ修理、花いっぱい事業、道の駅保田小の竹林補修、幼稚園の遊具設置、公民館の図書購入等、5事業に528万4千円を充当する予定です。

問 地域おこし協力隊支援

事業委託金が、1名分減額されているが、再度、募集を行ったのか。町は今後、地域おこし協力隊員と、どのような関わりを持つていくのか。

答 特産品の開発担当の募集を再度行いましたが、応募がないため、減額しました。現在4名の協力隊員で活動しています。今後は、内容を精査・検討し、募集等に取り組んでいきます。

### 介護保険会計

問 居宅介護、地域密着型

介護、施設介護の3つのサービス給付費に係る負担金が各々1400万円、1700万円、900万円と増額になっているが、鋸南病院の療養型病床が、閉鎖された影響のためか。

答 4月から12月までの給付実績と、今後の3か月分の見込みによる数字です。療養病床の閉鎖は、2月からですので、その影響によるものではありません。

### 鋸南病院事業会計

#### 補正予算 賛成討論

青木 悦子 議員

鋸南町にとつて、鋸南病院はなくてはならない町民の病院であることから、一般会計からの補助金3千万円を追加拠出する補正案に賛成する。

しかし、その費用は、町民の血税である。私は、町民から選ばれた議員であり、この原案に賛成する決断をしたことに対しては、大変大きな責任を負っていると考えている。

従つて、今回の3千万円を拠出すれば終わりになる訳ではないことを、財団側でもきちんと受け止め、町民に愛され、信頼される町の病院として、必ず建て直しを図るといふ決意を持ち、実行することを要望し、賛成討論とする。

笹生 正己 議員

町が国保鋸南病院を運営していた時代、大変な経営難に陥つた際に、町長に何度も病院の改革・改善を要望したと記憶している。議員全員協議会で、廃院という選択を迫つたこともある。

町で運営し続けたら、2億円以上を拠出しなければならぬ状態になり、ある大病院に経営移譲を依頼したことがあつたはずだ。病院ではなくクリニックなら受けるという結論で、他には受託者がなく、現院長がきさらぎ会を立ち上げ、運営してきた経緯がある。

来年度の当初予算は、7千万円だが、私個人としては、1億円以下であれば止むを得ない金額だと考える。高いか安いかは、人により色々な考え方があつたと思うが、今後も指定管理者制度による病院運営を続けても、いろいろ賛成討論とする。

#### 当初予算 賛成討論

鈴木 辰也 議員

鋸南病院の指定管理者である医療法人財団鋸南さきさき会に対する、指定管理交付金については、31年度中に病院の資金が不足しないよう支出することはよしとする。

しかし鋸南病院は公設民営であり、経営に関しては、民間とある程度同じ考え方で運営してもらわなければならない。病院の運営状況が厳しくなつた経緯、今まで取り組んできた経営改善策等、今後の対応を財団に求めるとともに、町が望む鋸南病院像をしっかりと財団に示したうえで、協議を行い運営してもらいたい。

運営会議を適宜、開催するとのことだが、運営会議自体が今までと同様な会議ではなく、踏み込んだ内容の会議を持ち、鋸南病院の経営改善に活かされるようお願いし、賛成討論とする。

(別表)平成30年度普通会計予算(3月補正後)

会計名	補正額	補正後予算額
一般会計	1,088万3千円	40億7,883万6千円
国民健康保険特別会計	4,803万3千円	12億4,762万7千円
後期高齢者医療特別会計	507万3千円	1億2,745万6千円
介護保険特別会計	4,375万4千円	13億5,637万円



経営再建が最重要課題



## 町民の声



清水 多佳子 さん

東京都大田区出身  
昨年9月から地域おこし協  
力隊員として活動  
仕事内容は、「観光の支援」  
鋸南町に来てから車での移  
動が多く、運動不足で太っ  
てしまいました…

東京から鋸南町に引っ越してきたのは昨年8月下旬、とても暑い日でした。最初は町の地図もわからない状態でしたが、町のみなさまに助けていただき、活動をつづけることができました。

鋸南町は、穏やかで美しい町だと思っています。ゴミの落ちていない、一年中、花が咲く町。水仙や頼朝桜を見ると、季節の移り変わりを感じます。たくさんの観光客が訪れるのも納得です。

さて、これまでの私の活動ですが、町の魅力をよりたくさんの人に知ってほしいと思い、今年1月、観光協会のホームページをリニューアルしました。また、ふるさと納税のサイトで、生産者インタビューをすることで、ネットでの情報発信に力を入れてきました。

現在、取り組んでいるのは、「保田駅」前の物件をシェアオフィス（共同事務所）にし、観光客や町の人たちの「居場所」をつくることです。何か面白いことをして、地域のためになれるといいな、と考えています。みなさまの助言をいただきながら、これからもまちづくりに携わっていきたいと思います。

## 議会の日誌

2月18日 議員全員協議会

2月25日 議会運営委員会

3月5日～15日

第1回議会定例会

3月8日 予算審査特別委員会

3月28日 議会広報特別委員会

4月4日 議会広報特別委員会協議会

## 編集後記

31年第1回定例議会は3月15日終了し、平成31年度予算が可決されました。ここから議会だよりの編集が始まり、広報委員は忙しくなります。任期最後の発行ということもあり、力が入ります。今振り返ってみると、新しい広報委員でスタートして、はや2年。よりよい紙面づくりを合言葉に、毎回市町村議会広報研究会に参加し、知識を深めました。昨年は勇気を出して、広報クリニックに応募。「議会だよりのきよなん」を取り上げてもらい、たくさんのお客様のアドバイスをいただきました。発行の迅速化、議会の様子が伝わるようにレイアウトを工夫、・・・等々。この一年で、紙面が大幅に変わったと自負しています。

さて、4月には町長選、町議選があります。議会だよりが皆様のもとに届くころには、選挙結果が報道され、議員が決まっていることでしょう。臨時議会が開催され、新たに議会広報特別委員が選ばれます。「思わず手に取る、読みたくなる議会だよりの」を目指し、努力精進を。委員の活躍を期待しています。

(田久保)

## 「町民の声」募集!

皆様のご意見を募集します。  
顔写真・お名前・ご意見を議  
会だよりに掲載します!  
議会事務局まで連絡をお願  
いします。

☎0470-55-4804